

COVID-19下におけるオンライン演技会の取り組み

加畑 碧¹⁾ 神野 未来¹⁾

1) 仙台大学体育学部

学会等報告

COVID-19 下におけるオンライン演技会の取り組み

加畑 碧¹⁾ 神野 未来¹⁾

1) 仙台大学体育学部

Midori Kahata¹⁾, Miku Jinno¹⁾: Attempt of online performance under COVID-19 : Bulletin of Sendai University, 52 (2) : 37-48, March, 2021.

1) Sendai University Faculty of Sports Science

Abstract: Based on the situation that most sporting events and competitions have been called off due to COVID-19, we have held online rhythmic gymnastics performance using a web conference system and YouTube for four times from August to October for a competition which was held in the end of October.

Questionnaire investigations into performers and audiences were conducted after the online performance. The results showed that high satisfaction from both. In particular, performers reported that this online performance enabled them to feel tense by being watched, and to practice assuming the competition. The audiences, who watched from all over the country and overseas, reported that this attempt enabled them to feel familiar with rhythmic gymnastics club activities. However, we had some problems such as video quality wasn't good because of sound and connection issues. Therefore, we will put in effort to improve those problems, and develop for the better online events.

KEYWORD Watching sports by online, Video distribution, Rhythmic gymnastics

キーワード オンライン観戦, 動画配信, 新体操

I. 緒言

1. 仙台大学とCOVID-19

2019年11月から12月にかけて中国湖北省武漢市周辺に端を発したCOVID-19は瞬く間に世界中に広がり、2020年4月には政府によって「新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態宣言」が出された。それに伴い、仙台大学のキャンパスは全面封鎖となり、部活動に関しても感染拡大予防の観点によって4月上旬より活動中止の要請が出された。これらの措置は5月25日の全国の緊急事態宣言の解除や県を超えた移動の自粛の解除に伴い、段階的に緩和されていく

運びとなった(表1)。7月1日からは一部の対面授業の実施が認められ、マスクの着用、校門での検温と学生証の提示、Google classroomを活用した健康スコアの提示(2週間前までの健康観察の義務付け)をもって管理体制が敷かれている。それに伴い、部活動についても本学スポーツ局が作成した『新型コロナウイルス感染症対策としての「部活動運用と関連した本大学体育施設を利用した大会等の実施及び各種大会への参加に関するガイドライン」』を遵守しながら再開する運びとなった。

表1 COVID-19に伴う仙台大学の入構対応措置の変遷

日付	内容
2020年 6月3日より	柴田町内及び自転車通学の学生を対象に、キャンパス内の許可を得た教室や執務室、研究室、図書館及び陸上競技場に限定して利用を容認。
2020年 6月8日より	宮城県内及び列車等での通学圏内（福島市等）に居住する学生を対象に、キャンパス内の許可を得た教室や執務室、研究室、図書館及び陸上競技場に限定して利用を容認。
2020年 6月10日より	県内及び通学圏内の学生まで対象を拡大。キャンパス以外の屋外運動場（サッカー場、ハンドボールコート、ラグビー場、野球場）及び屋内運動場（第1・第2・第4・第5体育館、体操場、柔道場、剣道場）まで範囲を拡大して利用を容認。 活動時間の上限は90分間（平日 6:55~19:25、土日祝日 8:40~19:25）。 活動内容は基本的にランニングや自重負荷のトレーニングを中心としたもの
2020年 6月15日より	対象を、北海道及び首都圏の1都3県を除く県外からの帰還学生まで拡大し、利用を容認。北海道及び首都圏の1都3県からの帰還学生については、今後の社会状況を見極めて判断するとした。
2020年 6月20日より	ソーシャルディスタンスが保たれていること等感染予防策の徹底を前提に、トレーニング内容を考慮しつつ、活動可能人数の段階的増加を施設管理者が運動施設の収容人数に照らして、適切に判断することを容認。 施設管理者がスケジュール調整を行い、利用学生のコンディション状況の聞き取り等を行い、必要に応じ活動時間を延長（平日 6:55~19:25、土日祝日 8:40~19:25 の活動時間帯の範囲内）することを容認。
2020年 7月1日より	7月1日～3日：0コマ及び5時限以降（16時以降）の部活動の施設利用を容認。 7月6日より：管理者（部活動指導者）の立ち合いの下、1コマから4コマで実技等での施設利用がなされていない場合の部活動の施設利用の容認。

2. 仙台大学新体操競技部および男子新体操競技部

仙台大学は東北地方で唯一の男女新体操競技部を設置する大学である。女子は、1989年に同好会から部活動に昇格し、以降全日本学生新体操選手権での団体競技最高戦績は3位、全日本新体操選手権での団体競技最高戦績は5位という実績を持つ。男子は2005年に同好会を発足、2013年に部活動に昇格し、全日本学生新体操選手権での団体競技最高戦績は4位、全日本新体操選手権での団体競技最高戦績は16位である。

新体操競技部では例年、5月の大型連休中に岩手県の北上市で行われる「KITAKAMI さくらカップ」に出演するほか、5月中旬の東日本学生選手権、8月末に行われる全日本学生新体操選手権に出場していた。しかし、2020年度においてはKITAKAMI さくらカップや東日本学生新体操選手権をはじめとしたほとんどの競技会が中止となり、当初8月開催予定であった第72回全日本学生新体操選手権については10月25日から27日の開催に変更されることとなった。例年とは異なる年間スケジュールでシーズンを送る中、今シーズンの初戦となる全日本学生新

体操選手権に向けた調整と学外者との交流およびコメントを受ける機会を得ることを目的にオンライン演技会を実施することとした。

II. 目的

本研究では、COVID-19の影響によって多くの大会が中止となっている現状の下、web会議システムを活用した新たな演技発表形式の提案と課題の整理・抽出を、演技会の出演者と視聴者の双方の視点から調査し、検討することを目的とした。

III. 方法

1. 対象者

本演技会の出演者は、仙台大学新体操競技部員及び男子新体操競技部員9名（男子3名、女子6名）であった。なお、本実践を行うにあたって対象学生には「特定の人を対象に、演技会をオンラインで配信すること」「YouTubeの限定公開にて動画配信を行うこと」について口頭で説明した。また、本演技会を視聴した者のうち

アンケート調査に回答した11名のデータを分析の対象とした。対象者への倫理的配慮として、採取したデータは研究以外に一切使用しないこと、個人は特定されないことを伝え、研究への承諾を得て倫理的な配慮を行った。なお、本演技会の視聴者は仙台大学新体操競技部関係者とオンライン演技会出演者の家族、関係者および新体操競技部の卒業生であった。

2. 使用用具

オンライン演技会の実施には以下の用具を用いた。

動画配信・撮影用具：

iPad pro (Apple), iPhone (Apple), surface Pro (Microsoft), iPad 用 三脚 (NationalGeographic), iPhone用三脚, 大型モニター (Panasonic), HDMIケーブル (Snowkids), Apple Lightning-DigitalAV アダプタ

演技使用手具：

新体操ボール7個 (Chacott), フープ6本 (81 cm, Chacott), クラブ5セット (Chacott), 男子新体操スティック2本 (ササキスポーツ), 男子新体操クラブ1セット (ササキスポーツ), 男子新体操リング1セット (ササキスポーツ), フロアマット (セノー株式会社), 男子新体操フロアマット (セノー株式会社)

3. 演技内容

演技内容は女子新体操団体競技ボール5, 女子新体操団体競技フープ3クラブ2, 女子新体操個人競技フープ, 女子新体操個人競技クラブ,

男子新体操個人競技スティック, 男子新体操個人競技クラブ, 男子新体操個人競技リングであった。

4. 演技配信方法

演技の様子はweb会議ツールであるZoomを用いて生配信した。また、演技会の様子はiPad proで撮影し、演技会終了後にYouTubeの限定公開にて動画をアップロードした (図1)。



図1 オンライン演技会の様子

各演技を三脚をつけたiPad proなどで撮影し、配信した

ZoomのURLとYouTubeの動画URLは、情報保護のために仙台大学新体操競技部関係者、オンライン演技会出演者の家族や関係者および新体操競技部の卒業生のみにも共有した。共有方法は出演者および新体操競技部スタッフによる招待で招待者は55名であった。限定公開したYouTubeの再生回数は2020年11月上旬現在で表2に示した通りである。

表2 オンライン演技会の実施日時とYouTubeの再生回数の一覧

回	実施日	開始時刻	YouTube 再生回数
第1回 (1日目)	2020年 8月14日 (金)	13時～	66回
第1回 (2日目)	2020年 8月15日 (土)	13時～	68回
第2回 (第1部)	2020年 9月 3日 (木)	12時15分～	49回
第2回 (第2部)	同上	15時50分～	55回
第3回 (第1部)	2020年 9月27日 (日)	12時15分～	52回
第3回 (第2部)	同上	15時50分～	29回
第4回 (第1部)	2020年10月11日 (日)	10時～	12回
第4回 (第2部)	同上	14時～	13回

5. 開催日時

オンライン演技会は団体競技の種目ごとに2日間に分けて、もしくは2部構成に分けて実施し、①2020年8月14日（金）13時、②2020年8月15日（土）13時、③2020年9月3日（木）第1部 12時15分、第2部 15時50分、④2020年9月27日（日）第1部 12時15分、第2部 15時50分、⑤2020年10月11日（日）第1部 10時、第2部 14時の全4回実施した（表2）。演技終了後は大型モニターを使用して、視聴者からのコメントを受けた（図2）。



図2 演技会後にコメントを受ける様子

オンラインでそれぞれの演技に対してのコメントを受けることができた

6. 調査方法

全4回のオンライン演技会が終了し、第72回全日本学生新体操選手権が終了した後、オンライン演技会の視聴者を対象に、Googleフォームでのアンケート調査を実施した。アンケートは11名から回答を得ることができた。質問項目は以下の通りである。

- 1) オンライン演技会を視聴した場所（都道府県）
- 2) 年齢（選択式）
- 3) 視聴した演技会（複数選択式）
- 4) オンライン演技会 Zoomでの生配信をご観くださった方にお伺いします。オンライン演技会 Zoom生配信の満足度を教えてください。
- 5) 4で回答した理由を教えてください。

6) オンライン演技会の YouTube 公開をご観くださった方にお伺いします。オンライン演技会の YouTube 公開の満足度を教えてください。

- 7) 6で回答した理由を教えてください。
- 8) オンライン演技会や YouTube での動画配信についてどのように感じましたか？
- 9) よりよいオンライン演技会にするための改善点等がございましたらご意見をお願いいたします。

質問4と6は「1：非常に満足」「2：満足」「3：どちらともいえない」「4：不満足」「5：非常に不満足」の5件法で回答を求めた。質問5, 7, 8, 9は自由記述で回答を求めた。

加えて、全4回のオンライン演技会が終了し、第72回全日本学生新体操選手権が終了した後、オンライン演技会に出演した仙台大学新体操競技部員及び男子新体操競技部員9名（男子3名、女子6名）を対象に質問紙調査を実施した。質問項目は以下の通りである。

- 1) オンライン演技会（Zoomでの配信）の満足度を教えてください。
- 2) オンライン演技会（YouTubeでの公開）の満足度を教えてください。
- 3) オンライン演技会をやってよかったと思うことは何ですか？
- 4) オンライン演技会を観覧してくださった方からのコメントの中で印象に残っているものがあれば教えてください。
- 5) オンライン演技会の実施は全日本インカレに肯定的な影響を与えたと思いますか？それとも否定的な影響を与えたと思いますか？
- 6) 5で答えた理由を教えてください。
- 7) オンライン演技会をやってみて改善してほしいと思ったこと、運営等においてももっとこうしたらよいと思うことがあれば教えてください。

質問1と2は「1：非常に満足」「2：満足」「3：どちらともいえない」「4：不満足」「5：非常に不満足」の5件法で回答を求めた。質問3と4は自由記述で回答を求めた。質問5は「1：肯定的な影響」「2：どちらともいえない」「3：否定的

な影響」の3件法で回答を求めた。質問6と7は自由記述で回答を求めた。

IV. 分析方法および統計処理

アンケート調査で得られた結果は、Microsoft Excel 2019 の分析ツール及びGoogle フォームを用いて統計処理し、グラフおよび表を作成した。

V. 結果と考察

本実践では、web会議システムを活用した新たな演技発表方式の提案と課題の整理・抽出を目的に研究を行った。その中でオンライン演技会の視聴者を対象に行ったアンケート調査から明らかになったことを以下に記す。

1-1) オンライン演技会の視聴者の特徴

今回のオンライン演技会の視聴は仙台大学新体操競技部の関係者に限定していたが、宮城県のほかに東京都や徳島県など、全国各地から視聴されていたことがわかる（図3）。加えて、アンケートには回答されていないものの、演技後には台湾在住者からもコメントを受けた。このように全国各地、国外からも今回の取り組みを観てもらい、コメントを受けることができたことが本実践の大きな利点の一つであったといえよう。

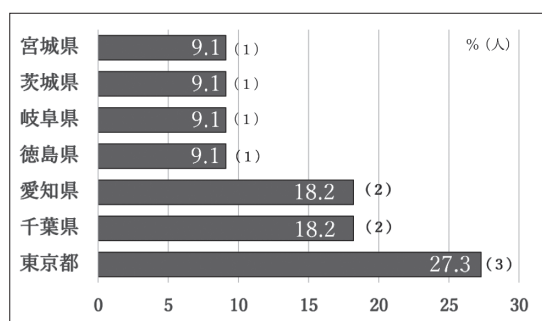


図3 オンライン演技会視聴場所
視聴場所は東京などの遠隔地が多かった

年齢内訳をみると50代が半数近くいて最も多くなっていた。これは出演者の保護者世代の

方が多く視聴したためだと考えられる（図4）。

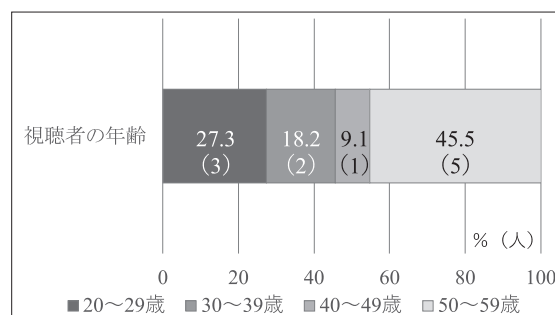


図4 視聴者の年齢区分

50代が最も多く、次が20代であった

また、アンケートに回答した者が視聴した演技会を図5にまとめた。一番視聴者が多かったのは8月14日の第1回演技会①のYouTube公開（7名）で、続いて8月14日の第1回演技会①のZoom配信、8月15日の第1回演技会①' Zoom配信とYouTube公開（5名）となった。その後は減少傾向となった。これは平日の開催や、まばらな開催時間帯（10時、13時50分等）がZoomでのオンタイムでの視聴に影響を及ぼしていた可能性が考えられるほか、第1回演技会がお盆の時期と重なり、視聴者にとって見やすい開催日時だったことが関係していると推測できる。加えて、第4回目の演技会を実施した10月11日は全日本新体操クラブ団体選手権が実施（全国から175クラブチームが参加）されていたため、視聴者の減少に繋がったと考えられる。そのほかにも発表内容が同一であり、変化に乏しかったことなどが要因として考えられるが、本実践が競技会に向けた調整としての意味合いが強かったということもありその点を変更することは難しい。よって今後は、より多くの方に演技会の取り組みを見てもらえるよう、オンラインの利点をより活用した配信方法を検討し、展開していきたい。

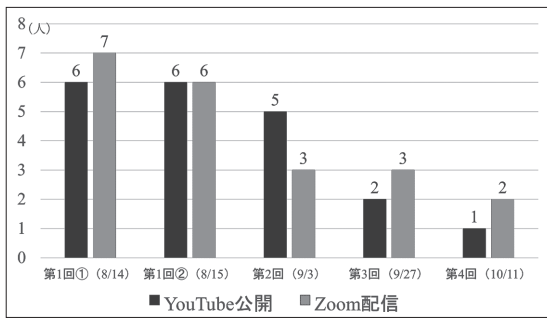


図5 オンライン演技会の視聴数一覧

左の黒棒が YouTube 公開の視聴人数, 右の灰色棒が Zoom 配信の視聴人数を示している。YouTube での公開と Zoom 配信とでは, 視聴数に大きな差は認められなかった。

1-2) オンライン演技会視聴者の満足度

オンライン演技会の視聴者の満足度を調査し, 図6にまとめた。YouTube 公開では回答者全員が満足となっていた。その一方で Zoom 配信については87.7%が満足となり, どちらでもないとの回答が一定数見られた。YouTube での公開では, 解像度の高い高画質の動画を配信することができたため, 多くの方の期待に沿った内容を提供することができ, 今回の満足度に繋がった。その一方で Zoom 配信では, 通信状況の問題等からなめらかな動画を配信することができなかった。第2回目以降のオンライン演技会以降は, パソコンから Zoom 配信を行い, 音響はパソコンのマイク機能を用い, 動画に関してはアプリケーション (iVCam) を用いて iPhone のカメラ機能を使用することで改善を図った。今後より良い方法を検討していきたい。

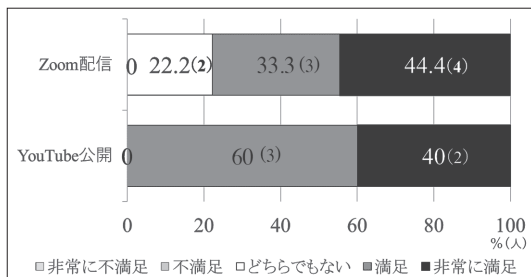


図6 視聴者の満足度

Zoom 配信と YouTube 公開とでは, YouTube 公開のほうが満足度が高いようであった。

1-3) オンライン演技会の感想

オンライン演技会の感想を調査しまとめたものを図7に示した。その結果, 回答者全員から「新しい試みで面白いと思った」との回答が得られたほか, 「コロナウイルスの状況下, 良い試みだと思った」(72.7%) など, オンラインでの演技会という新たな試みを評価する回答が多く得られた。また, 「新体操競技部の活動を身近に感じることができた」(63.6%) といった感想が多くみられた。その他の項目では, 「その場にいなくても見ることができて良かった。コロナ禍において, これまで通りの発表の場で演技をやることは難しいが, オンライン演技会という形でその場限りでの演技を発表することができたのは, 選手にとっても良かったのかなあと感じる。」といった感想が得られた。

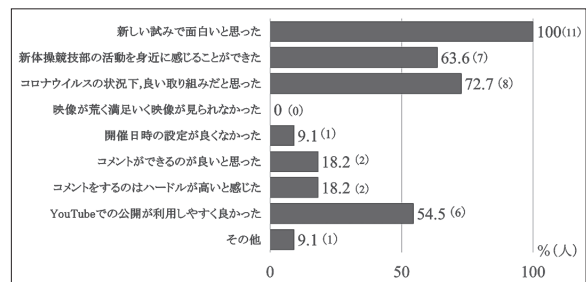


図7 視聴者の感想

オンライン演技会について好意的な感想が多く得られた

1-4) Zoom 配信の感想

Zoom 配信でのオンライン演技会の視聴者を対象に調査した感想の一覧を表3にまとめた。カテゴリー分けを行った結果, 通信状況と音響についての意見が6件と多く見られた。特に音響に関しては, 第1回の演技会時に Zoom のマイク設定のノイズキャンセル機能によって音楽がカットされてしまうトラブルが発生したため, 多く寄せられた。第2回以降は音響も改良したこともあり「動画の乱れも少なく, なめらかに演技を見ることができた」といった肯定的な意見も得られた。通信状況と音響以外の部分では, 「これからの時代に先駆けた素晴らしい企画だったと思います。」や「自宅にしながら母校の活動を知る

COVID-19 下におけるオンライン演技会の取り組み

一環としてとても良い試みだと感じました。」
といった取り組みに対する肯定的な評価が得

られたほか、「回を重ねる毎に成長が感じら
れた。」との意見（感想）が得られた。

表3 視聴者の Zoom 配信の感想一覧

カテゴリー		内容
通信状況・音響について	否定的（4件）	演技を見ることが出来たことは良かったが、初めての試みということもあったと思いますが、音が小さくて聞き取りにくかった。
		演技が見たかったが、通信に問題があり音と映像が飛んでしまっていました
		映像は良かったが、音楽が聞き取りづらかった。
		細かいところを見ようとすると、限界があった。
	肯定的（2件）	動画の乱れも少なく、なめらかに演技を見ることができた 綺麗な画像で体育館で見ているような臨場感があった。
取り組みへの肯定的評価（3件）		これからの時代に先駆けた素晴らしい企画だったと思います。 自宅にいながら母校の活動を知る一環としてとても良い試みだと感じました。 リアルでみれてよかった。
演技に対する評価（2件）		回を重ねる毎に成長が感じられた。 学生の素晴らしい演技を見ることができ、パワーをいただきました。
その他（1件）		審判としましても、なかなか経験できないことをさせていただき、感謝しています。

1-5) YouTube 公開の感想

オンライン演技会の YouTube 公開の視聴者を対象に調査した感想の一覧を表4にまとめた。「仕事などの都合で時間の調整がつか

ない時に、後から見ることができた。」といった YouTube の“いつでもどこでも見れるコンテンツ”としての利点をあげた感想などが見受けられた。

表4 視聴者の YouTube 公開の感想一覧

カテゴリー		内容
映像について	否定的（1件）	生の演技よりは、少し見にくい部分はあると感じました。（しかし、今の世の中の現状からしますと、これで十分だと感じました。）
	肯定的（4件）	画質、音楽しっかり見れて満足です 固定して全体が観れたから
		（生の演技よりは、少し見にくい部分はあると感じました。） しかし、今の世の中の現状からしますと、これで十分だと感じました。
		とても見やすかったから。
配信方法について（1件）		仕事などの都合で時間の調整がつかない時に、後から見ることができた。

1-6) 視聴者からみた改善点と全体の感想

オンライン演技会の視聴者を対象に調査した全体の感想と改善点についての一覧を表5にまとめた。改善点としては、「通信状況」「開催時刻」「アナウンス」「演技コメント時」「開催予告」の大きく分けて5つが挙げられた。運営方法に関する具体的な助言や、実際に会場に足を運んだり、都合をつけて見に来ることができないような人にも演技を観てもらえる場としての可能性が示された。加えて、今

後の継続の希望などの意見も得られた。今年度はCOVID-19の影響で多くの大会が中止に見舞われているが、それとは関係なく、選手の保護者や仙台大学新体操競技部卒業生が活動や演技を観ることができる機会は多くない。そのため今回のオンラインでの演技会は見るとしても、本新体操競技部を身近に感じてもらううえで良い試みであったと考えられる。

表5 視聴者からみた改善点と全体の感想

カテゴリー	内容
通信状況・音響について (2件)	より強力なネット環境等が必要となると思うが、より良い画質で生で見れたら嬉しい。アーカイブとしてYouTubeに挙げられる動画は良い画質で見られるのでそれも良いが、過去として見るのと今として見るのとではやはり違うものがあるため。 事前準備をしても本番でうまくつながらなかったり、ハプニングが多いですが、これからも応援しています。頑張ってください！
開催時刻について (1件)	平日のZoom配信は、12:00~などに開催だと昼休みにみれるのでありがたい。
アナウンス・運営について (1件)	演技前のアナウンスをマイクの近くで言うと観ている方はわかりやすい(とても遠い別世界を第三者が眺めている感覚がある)
演技後のコメントについて (2件)	より多くの方がコメントしてくれたらいいなあ～国民柄、みんな恥ずかしがっちゃうのかもしれないね... Zoomの特性を活かして、演技の修正などのコメントをいただいた時に、その場ですこしやってみるなど、リアルタイムならではのこともできたらいいかと思います。
開催予告について (1件)	フェイスブックなどで予め告知する。
肯定的感想 (7件)	都合つかず、見れないタイミングもありましたが、自分のチームにもフィードバックして、何かできないかと考えてみたいと思いました。 これからもぜひやっていただきたいと思います。 よかったです！ 素晴らしい機会を与えてくださって、本当にありがとうございました。素晴らしい演技会だったと思います。 今の状況の中ではとても良い試みであったと思います。定期的に出来るともっと良いかと思います！ 試合などになかなか足を運べないと繋がりも薄くなってしまった感じがあったので、今後もこのようなネット配信での演技会などで母校の活動を見られると嬉しいです。来年は会場で演技が見られることを楽しみにしています。 普段は予定が合わなくて観に行けない人でも、試合を観ることが出来ることに加え、配信時間にリアルタイムで観れなくても、追って観戦することができることは凄くいい試みだと感じました。今後コロナが落ち着き、会場で観戦できるようになっても、このようなオンライン配信を継続して頂くことでより多くの人の目に触れる機会になると感じます。

次に、オンライン演技会に出演した仙台大学の新体操競技部および男子新体操競技部を対象に行った質問紙調査から明らかになったことを以下に記していく。

2-1) オンライン演技会の満足度と理由

オンライン演技会の満足度を調査し、図8にまとめた。Zoom配信、YouTube公開ともに対象者全員が満足という結果が得られた。

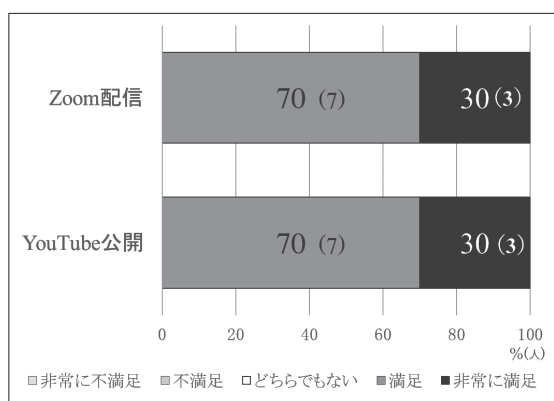


図8 出演者の満足度

Zoom配信とYouTube公開ともに高い満足度が得られた

満足と答えたその理由として大きく分けて4つの項目があがった(表6)。1つ目は、オンライン演技会が試合に向けた調整と緊張感の体験の場としての役割を担ったことである。2020年度のシーズンに関しては、「試合がなくなっていく中、全日本学生新体操選手権(以下、全日本インカレ)が開催されることで、今年の試合が全日本インカレが初になってしまいました。」とあるように、COVID-19の影響から新体操競技における大学生の全ての試合が中止となり、10月に開催された全日本学生選手権大会が今季初の試合となっていた。そのため、チームとしての試合への向かい方や緊張体験を得る場として、このオンライン演技会が貢献したものと考えられる。選手たちからは、「本番と同じような緊張感をもってできたこと。本番を意識できた。」「目の前に人がいなくても画面越しに見てくださっている人がいると思うと緊張も感じながら演技することができて、いつもとは違う雰囲気を

感じられたので良い経験になったと思う。」などの回答が得られた。2つ目は、オンライン演技会が外部からのコメントと評価を受ける場としての役割を担ったことである。今季は試合が開催されなかったことに加え、学外の新体操関係者との交流やコメントを受ける場も設けられない期間が長く続いた。そのため、「遠くにいる方にも演技を見て頂ける機会が増え、違う視点からの意見や感想を頂けて良かったと思う。」といったように、外部の方からの評価やアドバイスが選手の刺激と励みになったことがあげられた。3つ目は、離れた場所からでも観戦することができるというオンラインの特性についてである。「直接会場に足を運ばなくても演技をみることができる」ともあるように、大学の施設まで来る必要なく演技を観戦することができることから、選手たちも宮城県外にいる家族や高校までの恩師にも見てもらうことができたほか、友人など普段は見てもらう機会の少ない人にも見てもらうことができたとの意見があがった。4つ目はモチベーションの維持に関与したことであった。定期的に行われたオンライン演技会を一つの目標とモチベーションに日々の練習に励んでいた様子が伺えた。このように、オンライン演技会に出演した選手たちは、自分たちが出場する全日本インカレに向けてこの演技会を活用していた様子が伺えた。これは試合を想定した試技会としての意味合いもあるが、画面の向こうの他者の存在の意識や、他者からのフィードバック・関わりから得た影響に着目すると、オンライン演技会特有の体験を得られていたことが確認された。

表6 出演者の満足度と理由

カテゴリー	内容
試合に向けた調整・緊張感の体験 (5件)	大会が全くなかった中で、緊張感をもって演技する機会となってよかった。いつもと違う雰囲気と人に見ていただくということを感じながら行えたため、大会にむけて心も身体も合わせることができたと思う。
	他の方に見られているため、良い緊張感の中で踊れること。
	本番と同じような緊張感をもってできたこと。本番を意識できた。
	また、目の前に人がいなくても画面越しに見てくださっている人がいると思うと緊張も感じながら演技することができて、いつもとは違う雰囲気を感ぜられたので良い経験になったと思う。
	試合がなくなっていった中、全日本インカレが開催されることで、今年の試合が全日本インカレが初になってしまいました。そのため、オンライン演技会をやることで、試合の雰囲気で緊張感をもって、見てくださった方から評価していただいて、1つ1つの演技会で課題を見つけていくことができたので良かったと思います。
外部からのコメントと評価 (4件)	また、いつもいただけない注意等ももらえるためやって良かったと思います。
	遠くにいる方にも演技を見て頂ける機会が増え、違う視点からの意見や感想を頂けて良かったと思う。
	いつも頂くアドバイスと別のアドバイスがもらえる。
	試合がなくなっていった中、全日本インカレが開催されることで、今年の試合が全日本インカレが初になってしまいました。そのため、オンライン演技会をやることで、試合の雰囲気で緊張感をもって、見てくださった方から評価していただいて、1つ1つの演技会で課題を見つけていくことができたので良かったと思います。
離れていても観戦できる (3件)	実際に会場で観ることができなくてもオンラインで演技を見ることが出来る所。
	直接会場に足を運ばなくても演技をみる事が出来る
	遠くにいる方にも演技を見て頂ける機会が増え、違う視点からの意見や感想を頂けて良かったと思う。
	私も高校の先生や親、いろいろな人に見てもらい、こういう状況だからこそたくさんの人に応援していただきました。オンラインでいろいろな人とつながって自分たちの頑張りを見てもらえてうれしかったし、良かったなと思いました。
	今回はいつも演技を見ることができない友人などにも見てもらうことができました。応援してくれる友人に自分の頑張りを見てもらえて嬉しかったです。
モチベーションの維持 (2件)	大会もなくなっている今だと演技をする機会がないため、演技会があると各々のモチベーションの維持になったので良いと思いました。
	目標ができたことでモチベーションが上がり、演技の上達に励めたこと

2-2) 全日本インカレへの影響

今回のオンライン演技会は2020年10月25日から27日にかけて行われた全日本インカレを見越して全4回にわたって行った取り組みであった。そこで、このオンライン演技会が実

際に全日本インカレに及ぼした影響について調査し、図9にまとめた。90%が肯定的な影響であったと答え、どちらでもないが10%であった。

COVID-19 下におけるオンライン演技会の取り組み

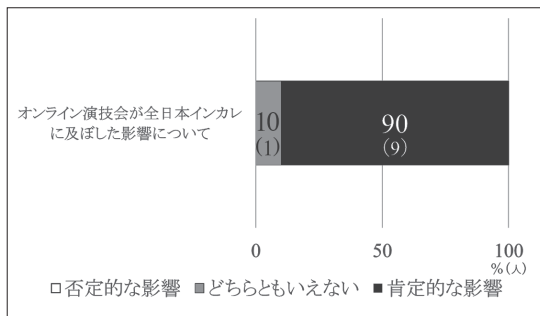


図9 全日本インカレへの影響
否定的な影響は少なく、肯定的な影響との回答がほとんどであった

肯定的な影響であったと答えた者は、「緊張感や試合を想定したオンライン演技会だったので全日本インカレでは、ある意味いつも通りの演技会と同じように考えてできたため、肯定的な影響を与えてくれたと思う。」といったように、人に見られているという緊張感の中で演技をする経験やその雰囲気が試合や無観客試合に活かされたという意見や、「オンライン演技会を行うことで、実際のタイムスケジュールの時間配分や練習内容で動く練習ができたから。」といったように、本番当日と同じスケジュールでの練習が本番当日にも肯定的に作用したとの意見があがった（表7）。

表7 全日本インカレへの影響について

カテゴリー	内容
試合に向けた調整・緊張感の体験 (9件)	オンライン演技会がないまま全日本インカレに行っていたら普段の練習とコントロールだけをやって臨むことになっていたと思います。3の回答でも言ったように、いつもと違う緊張感で演技をすることができたというのはとてもいい経験になりました。
	本番を想定して出来たため (2件)
	全日本インカレも無観客で応援がありませんでしたし、ほんとに拍手だけの会場で演技するという形でした。その状況に関しては一緒だし、試合形式で演技会をやることでチームの雰囲気だったり、本番の入り方だったり、1つ1つこなしていくごとに何が足りなかったのかを考えたり、自分で反省したり、自分のことについてたくさん考えるようになったし、それが全日本インカレの演技に繋がっていったと思います。
	3でも答えたように、緊張感や試合を想定したオンライン演技会だったので全日本インカレでは、ある意味いつも通りの演技会と同じように考えてできたため、肯定的な影響を与えてくれたと思う。試合当日もリアルタイムの生配信だったこともオンライン演技会と一緒に安心した。
	演技の場を設けることで、サポートではあるけれども試合への意識を高めることができたこと。
	人に見られることにより緊張感があり、良い経験になったから
	オンライン演技会を行うことで、実際のタイムスケジュールの時間配分や練習内容で動く練習ができたから。
インカレに向けた気持ちの作り方や練習方法を調整できるため	
外部からのコメントと評価 (1件)	オンライン演技会をしたことで、普段アドバイスを頂けない先生方やOB・OGの方からも頂けたことで新しい発見があったから。
リアルな観戦との違い (1件)	オンライン演技会の実施は、実際に会場へ行けなくても観ることができるが、やはり、会場でしか味わえない雰囲気を楽しむ方が良いと感じたため。

2.3) 出演者からみた改善点

出演者から出た改善点としては、観覧者の意見と同じく通信状況と音響についての指摘

があつたほか、「演技する人数が増えたらより演技会らしくなると感じた。」といった意見があがった（表8）。

表8 出演者からみた改善点

カテゴリー	内容
通信状況・音響について (2件)	Zoomに関しては難しいことだと思うが、音楽や映像が鮮明になればなおよいと思う
	少し音声途切れ流れていましたが、その点以外は、テレビなどの大画面に映し出して見てくれた人の顔がみえる状況だったので、良いオンライン演技会だったと思います。
その他 (2件)	演技する人数が増えたらより演技会らしくなると感じた。
	カメラを複数用意して色々な角度から撮ってみてもよいかもしれない

VI. まとめ

本研究では、COVID-19の影響によって多くの大会が中止となっている現状の下、web会議システムを活用した新たな演技発表方式の提案と課題の整理・抽出を演技会の出演者と視聴者の双方の視点から調査し、検討することを目的に研究を行った。オンラインでの演技会は①出演者にとって、他者から見られているという意識に繋がり本番を想定した練習の効果をより一層高めることに繋がること②視聴者にとって仙台大学新体操競技部の活動をより身近に感じさせる機会になり得ること③視聴者・出演者双方のコミュニケーションやフィードバックの機会として機能することが示された。また、本演技会を通して新体操競技部と関わりの深い外部の新体操指導者に演技を評価してもらい、コメン

トを受けたり、後日オンライン上で機会を設け、演技への具体的なアドバイスを受けたり、実際に大学に来てもらってアドバイスを受けることにも繋がった。今年度の試合が見合わされる中、他のチームの状況や情報を得ることが難しい情勢であったため、コメントやアドバイスを頂く中で演技の内容を見直したり、難易度を高められたことは非常に有益であったといえる。このような取り組みを今後も継続させていく中で、今回課題としてあがった音質及び動画配信方法の問題などを改善させていき、より良いものにしていきたい。

(2020年 11月30日受付)
(2021年 2月25日受理)

